



9月定例会県議会代表質問



代表質問をする 倉田 竜彦代表

1、二期目に臨む基本姿勢について
 【倉田】七つの政党からの推薦の受け止めは。
 【知事】二党一派に偏らず、県民の声にしっかり耳を傾ける。



2、人口減少時代への対応について
 【倉田】日本創生会議の人口減少に関する提言の評価は。
 【知事】地方中枢拠点都市のみで長野県の各地域を支えていくことは困難。「人口定着・確かな暮らし実現会議」で達成目標となる人口見通しや総合戦略の策定を進める。

3、子育て支援対策について
 【倉田】総合的な子育て支援戦略の具現化の方法は。
 【知事】年内にまとめ、可能なものは来年度から実施する。

4、中小企業対策・雇用対策について
 【倉田】いかに非正規労働者を減らすのか。
 【知事】短時間制度の導入、若者の実習、介護施設での実習を行い正規雇用が着実に増えるよう取り組んでいる。

5、しあわせ信州創造プランと公約との整合性について
 【倉田】公約の県総合母子センター(仮称)、高収益・自立型の林業構造の確立、文化振興基金(仮称)の設置と芸術監督の配置、手話言語条例(仮称)の制定はしあわせ信州創造プランにどう位置づけるか。
 【知事】プランの方向性に沿ったものであり、具体化を図る。

6、北陸新幹線延伸とリニア中央新幹線について
 【倉田】北陸新幹線延伸に伴う県内駅への停車本数の確保を。
 【知事】長野駅全列車停車、飯山駅二往復二四本停車。既存駅についても現状以上を確保するよう要望している。

7、教育問題について
 【倉田】総合教育会議を年内立ち上げの狙いは。
 【知事】公約の「人材教育県づくり」を進めていく上で、来年度からの教育政策に反映させるため。

8、県政運営のあり方について
 【倉田】移動知事室の位置づけは。
 【知事】県庁への移動に時間を要する地域の負担を軽減するとともに県政をより身近に感じていただくため、まず来年一月に上伊那地域で実施する。

9、環境問題について
 【知事】環境への負荷が極力低減されるよう指導していく。地域との丁寧な合意形成を行うよう求めていく。

10、道路の拡幅等による安全確保
 4億5961万円
 渋滞の解消と歩行者・自転車の通行の安全確保を図るため、道路の拡幅や歩道整備を実施

11、防災行政無線の設備更新
 7億6674万円
 災害時に安定した通信手段を確保するため、現在整備中の県庁局に加え、県現地機関、市町村消防本部等の衛星系無線通信装置を更新

12、松本平広域公園の機能向上のための検討
 2億577万円
 平成28年8月に開催される全日本中学校陸上競技選手権大会において充実した競技環境が提供できるよう、大型電光掲示板を改修

13、全国的スポーツ大会の誘致やプロスポーツの振興
 2億493万円
 松本平広域公園内の運動施設等の機能向上について調査・検討

平成27年度「予算編成と当面の課題に関する提案書」を知事に提出

改革・新風は、九月定例会最終日となる十月十五日、阿部知事に對して「平成二十七年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を提出しました。



倉田代表から「二期目のスタートが御嶽噴火災害対策で大変だがしっかりがんばってほしい」と挨拶。阿部知事は「御嶽災害では全員を必ず発見する決意で取り組んでいる。今後実際の被害や風評被害の対策に取り組むが議会の協力も願っています」と挨拶がありました。

要な要望について、小島幹事長から説明しました。「地方財源の確保」については「強く求めていく」、「信濃美術館の改築」については「今のままでは良いとは思っていない」、「子育て支援策」については「市町村とワーキンググループで議論している。思い切った対策を打ちたい」、「手話言語条例の制定については「誠実に条例制定の検討をする」、「契約に関する条例の取り組み方

針については「条例の視点をしっかりと入れ込んだものにする」、「総合計画策定も根拠条例の制定」については「研究する」、「再生可能エネルギーの買い取り契約の中断がないように」は「中部電力は大丈夫と聞いている。長野県の自主的な地域づくりとエネルギー政策の構造的転換を阻害されないようにしたい」、「また「大雪被害対策については「農家が営農意欲を失わないよう取り組み」とそれぞれ回答がされました。

*改革・新風では、県政対話集会などで「提案書」を配布して県民の皆さんのご意見をお聞きしていきます。

ご所望の方は会派までご連絡ください。

議会改革を前へ

改革・新風は、議会改革調査委員会において、議会の災害対策連絡本部の設置を提案し実施。このほか「通年議会」、「決算特別委員会」の充実を提案。「傍聴の簡素化」委員会へのタブレット持ち込みなどについては、議会運営委員会で検討が続いています。

御嶽山噴火 災害対応

九月二七日御嶽山が噴火し火山災害として戦後最悪の被害となりました。お亡くなりになられた皆様に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。

県議会は、県関係部局が人命救助等に全力をあげるため代表質問を延期するなどの柔軟な対応をとりました。



決算特別委員会質疑

このたびの御嶽山噴火によりお亡くなりになられた方々と御遺族に対し深く哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられた皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、被災された方の救助や捜索に当たられた皆様に心から敬意と感謝の意を表します。

この教訓を活かし、引き続き安全・安心の県土づくりのため誠心誠意取り組んでまいります。

小島康晴の 県政レポート

VOL 30

飯田市高羽町3-1-7

TEL・FAX (0265) 23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

長野県議会 改革・新風

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
 電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
 HP://www.kaikaku-shinpuu.com
 E-mail:info@kaikaku-shinpuu.com

9月県議会

元気な地域・頑張る現地を調査・視察

リニアは工事実施計画認可で次なる段階へ

県政報告第30号をお届けします。今議会は御嶽山噴火災害対応のため変則的な議会運営となりました。必要な審議は尽くせたとの考えますが、反省点は次に活かしてまいります。今定例会では会派内の調整で一般質問はお休みしましたので、閉会中の現地調査などを報告いたします。

県民文化健康福祉委員会の活動

東北信現地調査から

9月4～5日、東北信地区の現地調査を実施しました。

まず、長野合同庁舎で、長野地方事務所、長野消費生活センター、中央児童相談所、長野保健福祉事務所から概況説明を受けました。その後、認定こども園「マリアこども園(須坂市)、特別養護老人ホーム「森の里」(千曲市)、社会福祉法人しあわせ「クロスロード」あお



「森の里」にて

き(青木村)を視察しました。最後に上田合同庁舎で、上小地方事務所、上田消費生活センター、上田保健福祉事務所から概況説明を受けました。2日目は、まず丸子中央病院(上田市)を視察し、佐久合同庁舎で、佐久地方事務所、佐久児童相談所、佐久保健福祉事務所から概況説明を受けました。最後に佐久総合病院佐久医療センター(佐久市)を視察しました。

県の各現地機関の説明からは、それぞれの地域に根ざして、県民生活向上のために努力している姿がうかがわれました。また、視察を受け入れていただいた民間の施設等では、医療や福祉の現場で、国や県の補助金等も活かしながら、生き生きと元気に頑張っておられる感銘を受けました。特に「クロスロードあ



「バスボム」づくりを体験

おき」では、「バスボム」づくりにみんなで挑戦しました。こういう体験は8年目にして初めてで、指導していただいた方の笑顔とともに印象に残りました。

9月議会委員会審査から

●県民文化部長関係

「子どもを性被害から守る県の取組み(案)」については、条例制定の是非については慎重な議論を求める意見や期限を定めて結論を出すべきとの意見がありました。また、学校における性教育の充実や県民運動の活性化が必要との意見も出されました。

補正予算案については、今回予算計上された文化施設の施設整備に限らず、県有施設の設備の定期点



委員長席にて

決算特別委員会現地調査から

12人の委員が2班に分かれて調査しました。私の班では、長野・北信地区では、千曲建設事務所、家畜保健衛生所、中央警察署、両地方事務所など、長野盲学校、飯山養護学校、中野警察署を調査し、須坂看護専門学校、須坂調査を行いました。松本・木曾地区では、畜産試験場、野



須坂看護専門学校にて

菜花き試験場、犀川砂防事務所、松本地方事務所など、松本空港管理事務所、中南信運輸免許課、木曾建設事務所、木曾警察署、木曾保健福祉事務所を調査し、上松技術専門学校を現場調査しました。

改めて県の行政の範囲の広さ、現地機関の多さ・大切さを痛感しました。



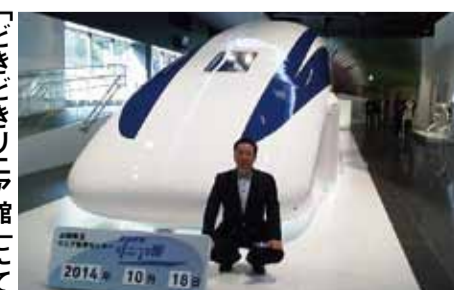
上松技術専門学校にて

10月17日、国土交通大臣はリニア中央新幹線の工事実施計画を認可しました。当地域で期成同盟会を結成して以来40年余、ようやくここまで来たかと感無量です。

もちろん課題は山積しており、1面記載の「リニア中央新幹線の建設に向けて、環境影響等への県民の不安を払拭するよう適切に対応すること。県が先頭に立ち、関連道路等の整備や、リニアを活用した中南信地域の振興に積極的に取り組むこと。」と要望しています。引き続きこの立場で取り組んでまい

リニア工事計画認可

ます。折しも東野まちづくり会議では10月18日「山梨県立リニア見学センター」を視察しました。まさにタイムリーな企画となり、リニアの最新状況に触れることができました。



「ときどきリニア館」にて

福祉人材の確保と処遇改善に関する意見書

わが会派で提案し、全会一致で可決されました。

我が国では、諸外国に例を見ない速度での少子高齢化が進み、ますます国民の福祉に必要とする需要増大と多様化が見込まれ、その根幹である質の高い人材の養成と確保が極めて重要な課題となっている。(中略)

よって、国において、将来にわたって福祉サービス分野のニーズに的確に対応できる人材を安定的に確保していくため、人材の確保と処遇改善のための施策の総合的な推進を図るよう強く要請する。

県短大4年制化に向けて

「県立大学設立委員会」が設置され、9月17日第1回委員会が開催されました。理事長予定者・学長予定者も決まり、平成30年4月開学に向けて大きな一歩を踏み出しました。引き続き、南信地域の高校生の進路の選択肢となるよう注視して



福岡女子大の立派な寮



立命館アジア太平洋大学にて